

情報連絡員総括表（2019年8月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2019年8月のDI値は、前月との比較において「販売価格」と「資金繰り」を除く7指標において悪化する結果となった。前月同様「販売価格」以外は基準値を大きく下回っている。

○「製造業」では、前月との比較において、全指標が悪化する結果となった。特に「業界の景況」は「悪化」の回答が11件に対し、「好転」の回答は0件だった。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「取引条件」が悪化、「雇用人員」が横ばい、それ以外の主要3指標を含む5指標が悪化する結果となった。
 サービス業では、梅雨明けが遅かったことや台風接近が悪い影響を与えているとのコメントが多くあった。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年8月	-23.4	2.3	8.4	-15.0	-31.7	-11.6	-36.6	-15.0	-36.7
2019年7月	-21.7	-4.7	6.7	-10.0	-26.6	-13.4	-20.0	-13.4	-31.7
増減	-1.7 ↓	7.0 ↓	1.7 ↑	-5.0 ↓	-5.1 ↓	1.8 ↑	-16.6 ↓	-1.6 ↓	-5.0 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2019年8月	-30.0	-10.0 ポイント	↘	-16.6	6.7 ポイント	↗	-23.4	-1.7 ポイント	↘	-20.0	-21.7	-21.7
	2019年7月	-20.0			-23.3			-21.7					
在庫数量	2019年8月	13.3	3.3 ポイント	↘	-23.1	15.4 ポイント	↘	2.3	7.0 ポイント	↘	-4.7	-4.7	-4.7
	2019年7月	10.0			-38.5			-4.7					
販売価格	2019年8月	3.3	-6.7 ポイント	↘	13.3	10.0 ポイント	↗	8.4	1.7 ポイント	↗	6.7	6.7	6.7
	2019年7月	10.0			3.3			6.7					
取引条件	2019年8月	-10.0	-6.6 ポイント	↘	-20.0	-3.3 ポイント	↘	-15.0	-5.0 ポイント	↘	-10.0	-10.0	-10.0
	2019年7月	-3.4			-16.7			-10.0					
収益状況	2019年8月	-43.3	-23.3 ポイント	↘	-20.0	13.3 ポイント	↗	-31.7	-5.1 ポイント	↘	-26.6	-26.6	-26.6
	2019年7月	-20.0			-33.3			-26.6					
資金繰り	2019年8月	-16.6	-6.6 ポイント	↘	-6.6	10.1 ポイント	↗	-11.6	1.8 ポイント	↗	-13.4	-13.4	-13.4
	2019年7月	-10.0			-16.7			-13.4					
設備操業度	2019年8月	-36.6	-16.6 ポイント	↘					-36.6	-16.6 ポイント	↘	-20.0	-20.0
	2019年7月	-20.0							-20.0				
雇用人員	2019年8月	-10.0	-3.3 ポイント	↘	-20.0	0.0 ポイント	-	-15.0	-1.6 ポイント	↘	-13.4	-13.4	-13.4
	2019年7月	-6.7			-20.0			-13.4					
業界の景況	2019年8月	-50.0	-13.3 ポイント	↘	-23.4	3.3 ポイント	↗	-36.7	-5.0 ポイント	↘	-31.7	-31.7	-31.7
	2019年7月	-36.7			-26.7			-31.7					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0		
	繊維工業	0	2	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2	1	1	0	2		
	木材・木製品	2	1	1	0	1	0	1	0	2	1	0	1	2	1	2	0	0	1		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1		
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	0	0	1		
	一般機器	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0	1	0	2		
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	送用機器	1	3	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	3		
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0		
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1					0	1	0	2
	小売業	1	4	0	3	2	2	1	2	1	4	0	3					1	2	0	4
	商店街	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0					0	1	0	1
	サービス業	1	3			1	1	0	2	1	3	0	1					0	1	1	3
	建設業	1	1			1	0	0	0	1	2	0	0					0	0	0	1
	運輸業	2	2			2	0	0	1	0	1	0	0					0	0	0	0

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元水産加工品の販売量が伸びない中、魚価格の高騰で需要も先細りしている。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 織屋3社、織元1社の廃業で組合員が35社から31社に減少した。 ・ 浴衣生地生産の低迷が続いている。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景況感が良くなく、前年並みを保つのが精一杯。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小売店・プレカット関係は駆け込み需要があるのか比較的忙しいが、製材所は住宅関係の受注減が深刻になっている。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先月までの業況から一変、住宅着工戸数は前年対比で大幅に減少している。 ・ 先月まで消費増税経過措置終了間際の駆け込み需要があったにもかかわらず、前年対比変動無しの認識でいた程に非常に厳しい状況。
紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たにペーパースラッジ(製紙工程で出来る廃棄物)を含んだ焼却処理設備を入れたことにより、新規組合員を加入させることができた。
印刷業	<ul style="list-style-type: none"> ・ セーリングのオリンピックテストイベントで土産物や商品へのイベント専用のラベル印刷があったため、売上は増加に転じた。 ・ 8月の落ち込みは想定以上であった。これが続くとすればリストラ、再構築を急がなければならない。
セメント製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年比売上57%増、今年度は10%増の予想。要因として、物流関係が首都一極集中より地方へ拡散したためと思われる。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高はやや減少傾向、収益、資金繰りにも一部悪化が見られる。 ・ 業界の景況に悪化予想が出ている。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国経済の落ち込みの影響が大きい。 ・ 親会社の受注減で売上が減少し、当面その傾向が続く予想。 ・ 歯車関係、海外市場が鈍化傾向にある。 ・ 当面の受注は確保しているが、世界的な経済悪化の影響を受け引き合いが減少しつつあり、先行き不透明感が増している。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月までの天候不順により、エアコンの販売が昨年同月比で悪化した。そのため生産調整が実施されたが大きな影響は出ていない。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米中貿易摩擦の影響が大きく、4月から4ヶ月連続対前年同月比売上減少が続いている。 ・ 前月同様、生産量の減少で人員に余剰感があるものの、下期の増産対応を考慮すると、現有人員を維持する必要がある、人員調整に苦慮している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先の外資系化に伴い関連企業の整理統合が進みつつある。 ・ 組合員個々で売上高の増減はあるものの、全体的には大きな変化は見られない。 ・ 各学校への空調設備の導入がひと段落しつつあり、組合員全体で見ると大きな底上げ要因とはなり得ず、取引先のグローバル化に伴う生産ライン変更等不確かさが垣間見られる。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当月も出荷は低調、4ヶ月連続で前年実績を大幅に下回り需要停滞が続いている。
機械器具小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン等白物家電の買い替え需要が増え繁忙状態。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ お盆の連休明けは、客数、客単価が減少した。厳しい状況が続いている。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税の影響が気になっている。 ・ 夜店市を開催し、多くの来街者で賑わった。特に飲食店の売上が良かった。 ・ 客数が落ち続けていたが、7~8月は前年より増えた。 ・ 地元花火大会があり賑わっていたが、商店街への足は遠のいていた。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨明けが遅く8月の予約発生が遅れた。 ・ 前年と比較し大手旅館は良かったが、中小規模の旅館は苦戦した。 ・ 台風10号の接近に伴いお盆期間の宿泊キャンセルが生じた。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区で夏休み中の小中学校へのエアコン導入が重なり、材料及び職人が不足している状況。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末に向け新規着工が多く繁忙期を迎えている。全国的にも人手不足感が大きく、工程に支障をきたしそうな状況の現場も見受けられる。ただ、零細企業は取引先の受注状況に左右されることが大きく、見通しが立っていない業者、業種も散見される。今後さらなる契約状況の好転を期待する。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月中旬までは荷動きは飲料等季節商品を中心に活発であったが、お盆以降は下降気味で家電等は減少し、全体的に荷動きは減少傾向である。それにより車両状況も増加傾向である。

4. 主要三指標における DI 値の推移

■2018年8月期～2019年8月期までの推移

全体	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
売上高	-3.3	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4
収益状況	-20.0	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7
業界の景況	-11.7	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7
製造業	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
売上高	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0
収益状況	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3
業界の景況	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0
非製造業	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
売上高	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6
収益状況	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0
業界の景況	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4



■2018年8月期～2019年8月期までの推移

売上高	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
製造業	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0
非製造業	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6

収益状況	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
製造業	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3
非製造業	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0

業界の景況	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8
製造業	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0
非製造業	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4

